

OMは、まだ入園したばかりなので、休園による生活変化はあまりありませんが、外出自粛や周囲の異常な雰囲気によってストレスを感じているようで、チック症状のような行動や爪を噛む、すぐに癩癩を起す、抱っこをせがむなど今まで見られなかった行動が見られるようになりました。普段は、外遊びが大好きで家に帰るのを嫌がり、一日中、走り回っている子なのですが、今は、天気の良い日にマスク着用で自宅近くをほんの10分程度散歩するだけです。その僅かな散歩時間も、知らない人に心無い態度や舌打ちをされるといったことがあり、「さあ、もうそろそろおうちにかえりましょうね。」とMの方から言い出します。小さな子供にも我慢を強いるこの状況が、とてももどかしくて心苦しいですが、今は、大切な命を守ることを第一に子供と共に頑張っています。

Mは、幼稚園をとても楽しみにしているようです。毎日、何度も「ようちえんにいく〜。」「ようちえんせんせいは?」「せんせいいる〜。」と聞いてきます。お人形を相手に幼稚園ごっこもしています。4月14日の登園日、私は、Mを送り出したもののいろんなことが心配で落ち着かず、何も手につきませんでした。しかし、私の心配をよそにMはとても楽しかったようで、帰宅して玄関に入ると靴を脱ぎながら「あ〜、たのしかった。」「いっぱいしたのよ。」とっていました。何が楽しかったのか、何をいっぱいしたのかは教えてくれませんでした。夜、帰宅した父親にも同じように報告していたので、本当に楽しかったのだと思います。(多分、先生方や周囲のお子さん達には、とてもご迷惑をおかけしたと思います…。すみません。)

毎日、親子でお祈りの言葉とメッセージをホームページで見えています。お祈りは、「かみさま」「ちとこと」「おねがいします」「あーめん」「まりあさま」と所々合わせて言うくらいですが、食事前後のお祈りの言葉と神様とお話する時には手を合わせるということは理解しているようで、少しずつ自分でするようになってきました。園長先生のメッセージ「では、またあした」の所では、手を振り「うん、またあしたね。」と言い、「だいすきなみなさんへ」の所では「えんちようせんせい、だいすきって。おかあさんも、Mちゃんのことだいすき?わたしも、だいすき。」といています。日に何度も「だいすき?」「Mちゃん、ここが(胸の辺りを擦りながら)さみしいから、だいすきって。ぎゅーっ、てして(抱きしめて)。」「もっと、もっといって。もっと、もっとよ。だいすき、ぎゅーっ、てして。」と言いに来ます。大好きと抱きしめてもらうことで、安心するようです。子供と24時間ずっと一緒にいるとその成長を感じ、楽しいことや面白いと思うこともたくさんありますが、思うようにいかないことや子供の行動にイライラして余裕がなくなることも多々あります。

他のお母さんたちはきちんとしているのに、自分はダメだなと落ち込むこともあります。そんな時、Mに「おかあさん、だいすき。」と言われると私自身、自分を認めてもらえたような、許されたような気持ちになります。

大好きという言葉は、園長先生のメッセージで覚えたようですが、言っても言われても嬉しい素敵な言葉だと思います。

こんなふうに大好きと言ってくれるのは今の時期だけかもしれませんが、Mにとって大好きなお母さんでいられるように努力したいと思っています。宮下先生、原田先生からMにお手紙をいただきました。

人生初の自分宛ての手紙を手に「おてがみ、Mちゃんよ。」と嬉しそうに家の中を走り回り、大興奮でした。封筒に何度も手紙を出し入れして「おへんじ。おてがみ。」といています。字が書けないので、お返事の方法をMと模索中です。

まだしばらく困難な状況が続きそうですが、新型コロナウイルスが早く収束し、また元気な子供たちの声が幼稚園に戻ってくる日をMと一緒に心待ちにしております。親子ともどもお世話をかけますが、どうぞよろしく願いいたします。

○入園式は無事参加でき、幼稚園生になったものの、まだ通えてないので、まだ幼稚園に入っていないような気持ちです。しかし毎日園日より子どもと一緒に読んで、少しでも子どもが幼稚園の一員だと思えるように、元気に行けるようになる日を楽しみに読ませていただいております。今回のことで本当にいろいろなことができなくなってしまいましたが、それは結局「命」よりも大切なものがなかったということ。この言葉は、本当にそうだなと私の中にもストンと入ってきました。この先の見えない、毎日いろんな不安と恐怖を抱えて生きる日々は本当にしんどいです。朝起きたら、ウイルスなんてなくなっていたらいいのに・・・と思います。でも、子どもがいてくれるおかげで、そんな中でも、毎日笑って暮らしていています。本当に子どもに救われていると感じる日々です。親として私の中でも、早く幼稚園に行かせてあげたい思いと、今の状況の中で集団生活を送る不安、色々な複雑な感情があります。～(中略)～つぼみ組さんの1年で幼稚園が楽しいところだと思えているようで、本当に感謝しています。しかしあまりにも家で過ごす私との日々が長く、幼稚園もういなくなるといいと言い始めたり、おそらく幼稚園が始まってもしばらくは、今までの長いお家生活からの変動が激しく、慣れるまで時間がかかると思います。そのことも少し心配ですが、先生方のお力をお借りしながら、私も見守っていきたいと思います。～(略)～

○お手紙ありがとうございました。Tは、毎日元気に過ごしております。今が外出を控えているので室内中心ですが、園長先生の園だよりと一緒に読んで、ロジックあそびをしたり、おりがみ、ブロックで遊んでいます。Tには兄弟がいないので、早く聖母幼稚園のお友だちと遊べる環境が整って欲しい所ですが、今はみんなで頑張る時なので、家族で協力して、家で楽しい雰囲気を作っています。主人も5月いっぱい、会社が在宅勤務となりましたので、精神的負担が軽くなっています。また、この2ヶ月の休みもTの人生に於て何かプラスとして意味のある事であると思うので間近で成長を見守っていけることに感謝しつつ、いち早く元の生活に戻れるように祈っております。

(園長より)

今日はCさんのお母様方です。今回、このようになって、一番心配だったのはCさんのことでした。Aさん、Bさんのお母様方は、きっと、試行錯誤しながらも、子どもとの時間をどのように過ごせば良いのか、その答えにきっとたどりついていかれるだろうと信頼していました。Cさんのお母様には本当に何もお伝え出来ず、ホームページも一方的に送るばかりで・・・申し訳なく思っていました。

でも、ホームページをご一緒に開いてくださっていたり、「かみさま・・・」と、口に出してくださっていることを伺い、そこにも、必ず神さまがいてくださり、導いてくださると思えるようになりました。

幼稚園が再開したとき、Cさんはどんなお姿でしょう？幼稚園に行きたい気持ち、不安な気持ち・・・ママ～！と叫べますでしょうか？楽しみです！Cさんの良い所は、自分の思いをそのまま出せることです。また、出せることが幸せですね。泣き叫ぶ人は、わかりやすいのですが、反対にがまんする人もいますね。どちらが良い悪いということではありません。そのままの子どもたちを受け止め、向き合い、丁寧にかかわらせて頂こうと思っています。かわいいCさんに会えるのが今から楽しみです！どうぞよろしくお願いいたします。